

ごあいさつ

平成 27 年度文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC +）」に採択された「静大発“ふじのくに”創生プラン」も 3 年目を迎えました。また、地域社会に根ざすという本学のミッションに基づき、地域人材の育成を目指す学部横断型教育プログラム「地域創造学環」を開設してから 1 年が経ち、地域の皆様方には様々なお力添えをいただいたこと、深く感謝申し上げます。

静岡県は、県内の大学が受け入れ可能な学生定員が進学希望者に比べて少なく、多くの若者が県外の大学に進学し、そして卒業後もそのまま県外で就職してしまうことが多いという実態があります。また、県内の大学生も就職のために東京等大都市圏に出てしまうことが多いため、若年層人口の流出が多く、それが地域社会の活力の低下につながっていることが深刻な問題となっています。

この“ふじのくに”創生プランは、静岡大学を中心に産学官金が 1 つのチームとなって、若年層の流出という課題に正面から向き合い、地域社会活性化のための施策に取り組んでいくものです。成果として、本学の「地域志向科目」及び「キャリア形成科目」の全学必修化（平成 30 年度入学者より）を始め、事業協働機関へのインターンシップ参加者数の大幅増が挙げられます。今後も地域ニーズを的確にとらえ、新たな産業の担い手や地域課題解決のリーダーとなれるような人材を輩出できるよう、本事業に力を尽くしてまいります。

本事業は静岡県並びに静岡市、浜松市をはじめとする県内 35 市町すべての自治体及び 50 余の経済団体・企業等に事業協働機関として参画いただき、浜松医科大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学、沼津工業高等専門学校等の県内国公立高等教育機関のほか、電気通信大学、東海大学、愛知学院大学という県外の大学にもご協力をいただき、多様なステークホルダーとの有機的な連携のもと、静岡県の将来を担う若者が県内で活躍できる環境の実現を目指しております。今後とも皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



静岡COC+連携協議会会長
静岡大学長

石井 潔